

福島 六ヶ所 未来人の伝言

<http://www.rokkashomirai.com>

**原発事故が起きた福島
核燃料サイクル事業が進む六ヶ所村
あなたはいのちのバトンをわたせますか**



——原発の問題をどうしたら地元以外の人たちにも「他人事」ではなく「自分事」として捉えてもらえるのか、そのことをずっと考えてきました

島田 恵 (しまだ けい)

1959年東京生まれ。写真雑誌社、スタジオ写真などを経てフリーの写真家。1986年のチェルノブイリ原発事故後初めて六ヶ所村を訪れ、核燃問題で揺れる村に衝撃を受け取材を始める。1990年から2002年までは六ヶ所村に在住。あらたに映像分野で核燃問題を伝えようと、2011年から映画制作に乗り出す。第7回平和・共同ジャーナリスト基金賞受賞

ストーリー

福島第一原発から5キロに住んでいた大熊町の田辺さん一家は、避難先の東京で第2子を出産。ふるさとに願いを込め「福ちゃん」と名づけた。郡山市で14代続く有機農業家の中村さん一家は、放射能による影響に苦しみながら、田植えをし稲刈る。東京に住む河原愛美さんは、子供の食べ物に気を使いながら、核燃施設のある故郷の青森県六ヶ所村を憂う。六ヶ所村泊で漁業を営む滝口さん一家は、青森県太平洋沖のマダラから基準値以上のセシウムが検出されたために獲った魚を海に捨てる。

福島と六ヶ所村をつなぐもの。原子力施設を抱える地域で暮らす人々の生活と苦悩を通し、放射能という「負の遺産(*)」をこれ以上増やし続けることの責任を問う。

(*)放射能を無害にする技術はなく、放射能が減衰するまで放射性廃棄物を何万年も管理しなくてはならない

青森県六ヶ所村と下北原子力半島

六ヶ所村には核燃料サイクル基地と呼ばれる「再処理工場」「ウラン濃縮工場」「低レベル放射性廃棄物埋設センター」「高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター」「MOX燃料加工工場(建設中)」があり、下北半島には「東通原発」、「使用済み核燃料中間貯蔵施設(むつ市・建設中)」、「大間原発(建設中)」がある。



監督:島田恵 音楽:加藤登紀子「今どこにいますか」「命結」制作・配給:六ヶ所みらい映画プロジェクト 助成:高木基金 2013年/日本/カラー・白黒/HD/105分

日時: 2013年 **11月22日(金)** 18:45~21:00 **11月23日(土)** 10:00~12:30

会場: 仙台市戦災復興記念館 4F 研修室 (定員各回 62人) 仙台市青葉区大町 2-12-1

料金: **800円** (要申込み/定員に達しなかった場合、当日券を1000円で発売します)

11月21日(木)にも上映会があります
13:30~ エルパーク仙台にて
企画: 政治を考える女性の会
(☎022-378-2056)
主催: せんだい男女共同参画財団

申込み・お問い合わせ

- ・ウェブ <http://kokucheese.com/event/index/121950/>
(検索では『こくちーず』『121950』と入力して下さい)
- ・メール wakamesanriku@yahoo.co.jp
- ・TEL 090-8819-9920
- ・FAX 022-302-3284

主催: わかめの会 (三陸・宮城の海を放射能から守る仙台の会)

映画と合わせてこちらも...

島田恵写真展 「核燃の村に生きる人々」

★11月27日(水)~12月1日(日) ★無料

★エルパーク仙台 展示ギャラリー (三越定禅寺通り館 5F)

★9時~21時30分 (最終日は16時まで)